*※ 様式第一に記載した再生医療等を行う医師又は歯科医師の全員について作成すること*

西暦　XXXX年 XX月 XX日

履歴書

（再生医療等を行う医師又は歯科医師）

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな | とうきょう　たろう |
| 氏名 | 東京 　　太郎 |
| 所属 | ◯◯歯科医院、医療法人社団　○○会　○○歯科 |
| 役職 | 院長 |
| 学歴 (大学） | ◯◯歯科大学　　　歯学部　西暦 1997年卒 |
| 免許 | □医師　 医籍番号 ( 第123456号 )  免許取得日 (西暦 XXXX 年 XX月 XX日)  ■歯科医師 医籍番号 ( 第123456号 )  免許取得日 (西暦 XXXX 年 XX月 XX日) |
| 認定医等の資格 | 一般社団法人 日本再生医療学会認定医 (認定登録番号M1-201X-XXXXX号)  公益社団法人 日本口腔外科学会専門医 (第 000号)  公益社団法人 日本補綴歯科学会専門医 (第 000号)  公益社団法人 日本口腔インプラント学会専門医 (第 000号)  公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会専門医 (第 000号) |
| 職歴 | 西暦 XXXX年 XX月～西暦 XXXX年 XX月：◯◯歯科大学歯学部附属病院 |
| 西暦 XXXX年 XX月～現在：◯◯歯科医院 |
| 専門分野 | 歯周病学、口腔再生医学、口腔外科学、補綴歯科学、口腔インプラント学 |
| 所属学会等 | 日本再生医療学会、日本口腔インプラント学会、日本顎顔面インプラント学会、日本再生歯科医学会、日本口腔外科学会、日本補綴歯科学会 |
| 臨床経験  （特に提供する再生医療等に関する臨床経験） | ・PRPを用いた骨増生部に対するインプラント治療症例を10例以上有する  ・顎裂骨移植における多血小板血漿の併用の効果．第○○回日本口腔外科学会総会・学術大会, 20XX, 東京. (学会発表)  ・PRPを併用した上顎洞底挙上術後にインプラント治療を施行した症例の経過観察．日本口腔インプラント学会誌 XX (X): XX-XX, 20XX (論文) |
| 研究実績  （実績がある場合） | 多血小板血漿と自家骨の併用による骨再生促進効果　ウサギ脛骨に形成した骨欠損における組織形態計測による評価．東京太郎, 口腔病学会雑誌 XX (X): XX-XX, 20XX  A basic analysis of platelet-rich fibrin: distribution and release of platelet-derived growth factor-BB release from platelet-rich fibrin. Inflammation and Regeneration. Tokyo T et al., XX (X): XX-XX, 20XX |